

川崎町の
アスキー

韓国政府から感謝状

ユズ輸入、産地育成に貢献



感謝状などを手にするアスキーの山崎社長(左)と
創業者の星野さん

を求めて、創業者の星野宗広さん(45)＝現・非常勤取締役＝が、韓国でも有数のユズの産地とされる高興郡を視察。「皮が厚く香りと味に深みがある」(星野さん)として、97年から韓国の政府系企業を通じて、ユズ

加工品を輸入している。接ぎ木や肥料をまく時期や量など、現地農家に技術指導も行ってきたという。

今年22日に星野さんが渡韓し、高興郡の農協組合長から感謝状を受け取った。山崎社長は「韓国で評価されるのは名

誉なこと。日本でさらに「広めていきたい」と話し、韓国産ユズのおいしさを

かんきつ類の果汁の加工・販売会社「アスキー」(川崎町川崎、山崎順一郎社長)が、韓国からのユズ地育成に貢献したと、韓国政府に認められ、うれしいとしている。

同社は1990年創立。加工した果汁を大手飲料メーカーなどに販売し、ジュースやアイスクリームの原料などに使われているという。92年ごろ、良質のユズ

状を贈られた。同社は「産